



俳句ゆめクラブ会報

2023年7月25日

第 157 号

階段の海辺の町やはもの皮

岩松忠子

互 選

浅見法子 (6票) 浅見法子
 長澤輝子 (3票) 八千代幸男
 長澤輝子 (3票) 瀬戸川公子
 八千代幸男 (3票) 八千代幸男
 浅見法子 (3票) 岩松忠子
 宮島昭夫

〔 決定事項・連絡事項 〕

・次回句会 8月22日(火)

県活・2022号室(13時より)

(当番:宮島、岡田)

兼題 「シャワー」

・今回は10名出席
 (欠席・浅見 投句あり)

(小林健一郎記)

開け放つ百年の家昼寝

浅見法子
 長澤輝子
 八千代幸男
 長澤輝子
 八千代幸男
 浅見法子
 宮島昭夫

《 入 選 》

草むしり軍手に根気ありにけり
 三年振り祭りセイヤーと声高し
 幾らかの憂ひのありて木下闇
 夏祭誘ひ誘はれそぞろ往く
 人生本胸に重たき昼寝かな
 炎昼や居場所を探し求めたる
 静寂に誘はれ昼寝始まり
 昼寝覚まだ覚めたとも分かりかね
 幼子のごとくに猫に添ふ昼寝
 幼児のはしやく声止む昼寝かな
 家に居て音を楽しむ遠花火
 炎天や身震ひしつつ救急車
 日のほてり残る二階や雷遠く
 ミニトマト葉隠れの術使ひをり
 蟬の穴大団円の出口かな
 朝市のバナナ五本の夜に熟るる
 梅雨最中歩行者天国人の波

岡田時雄
 宮島昭夫
 小林健一郎
 長澤輝子
 八千代幸男
 浅見法子
 宮島昭夫
 岡田時雄
 瀬戸川公子
 岩松忠子
 吉野利美子
 浅見法子
 瀬戸川公子
 岡田時雄
 吉野利美子
 鈴木幸恵

〔 句 会 〕 県活2022号セミナー室

13時〜14時35分

梅田先生の句

夕焼を左折してゆく救急車
 昼寝覚雲上をゆくごとくなる
 稲の花朝空どこまでも晴れて

梅田先生選

《 特 選 》

吉野利美子
 岩松忠子
 鈴木幸恵
 小林健一郎
 小林健一郎

